

会社名 コスモ・バイオ株式会社 (JASDAQ・コード番号：3386)
 (URL <http://www.cosmobio.co.jp/>) 本社所在地 東京都
 問合せ先 代表者役職 代表取締役社長 TEL：(03) 5632-9600
 氏名 原田 正憲
 責任者役職 常務取締役総務部長
 氏名 柴沼 篤夫

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

- ① 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
 (内容)
 ・たな卸資産の計上基準は、実地たな卸は行わず、帳簿たな卸残高を計上しております。
 ・法人税等の計上基準 法定実効税率をベースとした見積実効税率を計上しております。
 ・その他影響額が僅少なものにつき一部簡便な方法を採用しております。
- ② 最近会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有
 当四半期会計期間から「固定資産の減損に係る会計基準」（「固定資産の減損に係る会計基準の設定に関する意見書」（企業会計審議会 平成 14 年 8 月 9 日））及び「固定資産の減損に係る会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第 6 号 平成 15 年 10 月 31 日）を適用しております。
 また、企業会計基準 4 号「役員賞与に関する会計基準」（平成 17 年 11 月 29 日企業会計基準委員会）に基づき、役員に対する賞与の支給に充てるため、当該支給見込額を役員賞与引当金として計上しております。
- ③ 四半期財務諸表等について、監査法人の監査はうけておりません。

2. 平成 18 年 12 月期第 1 四半期財務・業績の概況（平成 18 年 1 月 1 日～平成 18 年 3 月 31 日）

(1) 経営成績の進捗状況 (百万円未満切捨)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期（当期）純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
18 年 12 月期第 1 四半期	1,724	(-)	373	(-)	353	(-)	210	(-)
17 年 12 月期第 1 四半期	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)
(参考) 17 年 12 月期	5,498		871		970		575	

	1 株当たり四半期（当期）純利益		潜在株式調整後 1 株当たり四半期（当期）純利益	
	円	銭	円	銭
18 年 12 月期第 1 四半期	7,091	64	7,068	02
17 年 12 月期第 1 四半期	-	-	-	-
(参考) 17 年 12 月期	21,496	85	21,417	01

- (注) 1. 四半期決算の開示は、平成 17 年第 3 四半期より実施しておりますので、前年第 1 四半期の実績は記載しておりません。また、前年第 1 四半期との比較についても記載しておりません。
 2. 平成 17 年 5 月 2 日付をもって株式 1 株を 4 株に分割しており、平成 17 年 12 月期における 1 株当たり純利益は、株式分割が期首に行われたものとして算出しております。

[経営成績の進捗状況に関する定性的情報等]

当第 1 四半期（平成 18 年 1 月 1 日～平成 18 年 3 月 31 日）における当社を取り巻くバイオ関連の環境は下記のとおりです。

まず、大学関係におきましては、平成 16 年 4 月より始まった国立大学等の独立行政法人化の影響も一段落し、研究活動にも回復の兆しが見られております。企業におきましても、研究開発は堅調に進められております。そのためバイオ関連の需要は堅調と見られますが、市場における販売競争は、引き続き激化

しております。

経営成績につきましては、上記の環境下、当社は積極的な販売促進につとめ、売上比率の高い試薬を中心に堅調な増加を示し、売上高は予算を若干上回り、1,724百万円となりました。一方、仕入面におきましては、為替がおおむね117円で推移し、売上総利益率は43.8%となりました。販売管理費等の費用面につきましては、おおむね当社予算どおりに推移した結果、営業利益は373百万円となりました。

当社では、為替の影響をヘッジすることを目的としたデリバティブ商品を採用しております。当第1四半期末におきましては、為替が前期（平成17年12月期）末に比べて若干円高であったことにより、デリバティブ評価損が9百万円発生しました。その結果、経常利益は353百万円となり、四半期（当期）純利益は210百万円となりました。

(2) 財政状態の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
18年3月期第1四半期	5,074	3,966	78.2	133,895 88
17年3月期第1四半期	—	—	—	—
(参考) 17年12月期	5,190	3,890	74.9	130,604 24

(注) 1. 四半期決算の開示は、平成17年第3四半期より実施しておりますので、前年第1四半期の実績は記載しておりません。また、前年第1四半期との比較についても記載しておりません。

2. 平成17年5月2日付をもって株式1株を4株に分割しております。平成17年12月期における一株当たり株主資本は株式分割が期首に行われたものとして算出しております。

[財政状態の進捗状況に関する定性的情報等]

当第1四半期の流動資産は、3,711百万円（前会計年度末3,651百万円）となり、60百万円の増加となりました。

固定資産は、1,362百万円（前会計年度末1,539百万円）となり、176百万円の減少となりました。主要因といたしましては、償還期限が1年未満になった社債が200百万円あったこと等により、投資有価証券が168百万円減少したためです。

負債合計は、1,107百万円（前会計年度末1,300百万円）となり、192百万円の減少となりました。主要因といたしましては、1年内返済予定の長期借入金99百万円及び未払法人税等111百万円が減少したこと等によるものであります。

資本合計は、3,966百万円（前会計年度末3,890百万円）となり、76百万円の増加となりました。主な増加要因といたしましては、利益剰余金が76百万円増加したこと等によりあります。

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
18年3月期第1四半期	△229	64	△186	349
17年3月期第1四半期	—	—	—	—
(参考) 17年12月期	201	△1,617	1,426	698

[キャッシュ・フローの状況に関する定性的情報等]

当第1四半期会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、229百万円の減少となりました。これは売上の増加により売上債権が284百万円増加したこと、法人税等の支払額が261百万円となったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、64百万円の増加となりました。これは、有価証券の償還による収入が100百万円あったこと、株式会社バイオマトリックス研究所が行う第三者割当増資において、130株を引き受けたことにより32百万円の支出があったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、186百万円の減少となりました。これは、配当金の支払いが

87 百万あったこと、長期借入金の返済により 99 百万円の支出があったこと等によるものであります。

上記の結果、当第1四半期における現金及び現金同等物は、前会計年度末に比べ 348 百万円減少の 349 百万円となりました。

[参 考]

当第1四半期の業績は予定通り推移しており、平成18年2月14日に公表いたしました平成18年12月期（平成18年1月1日～平成18年12月31日）の業績予想に変更はありません。

平成18年12月期の業績予想（平成18年1月1日～平成18年12月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり年間配当金	
				期 末	
	百万円	百万円	百万円	円 銭	円 銭
中間期	3,059	471	251	— —	— —
通 期	5,900	822	472	3,800 00	3,800 00

（参考）1株当たり予想当期純利益（通期）15,225円89銭

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいており、実際の業績は今後の為替動向などの変動要因によって予想数値と異なる場合があります。

[添付資料]

1. (要約) 貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当第1四半期 (平成18年12月期第1四半期)		(参考) (平成17年12月期)	
	金 額	構成比	金 額	構成比
(資産の部)		%		%
I 流動資産				
現金及び預金	349		698	
受取手形	626		579	
売掛金	1,450		1,214	
有価証券	702		602	
たな卸資産	497		473	
その他	85		84	
流動資産合計	3,711	73.1	3,651	70.3
II 固定資産				
有形固定資産	29		28	
無形固定資産	19		20	
投資有価証券	935		1,104	
長期性預金	100		100	
その他	277		284	
固定資産合計	1,362	26.9	1,539	29.7
資産合計	5,074	100.0	5,190	100.0
(負債の部)				
I 流動負債				
支払手形	74		73	
買掛金	500		420	
短期借入金	20		20	
一年内返済予定の長期借入金	—		99	
役員賞与引当金	3		—	
未払法人税等	148		260	
その他	173		198	
流動負債合計	920	18.1	1,072	20.7
II 固定負債				
退職給付引当金	117		127	
役員退職慰労引当金	62		93	
その他	6		7	
固定負債合計	186	3.7	227	4.4
負債合計	1,107	21.8	1,300	25.1

科 目	当第1四半期 (平成18年12月期第1四半期)		(参考) (平成17年12月期)	
	金 額	構成比	金 額	構成比
(資本の部)		%		%
I 資本金	898	17.7	898	17.3
II 資本剰余金				
資本準備金	1,202		1,202	
資本剰余金合計	1,202	23.7	1,202	23.2
III 利益剰余金				
利益準備金	21		21	
任意積立金	1,000		1,001	
四半期(当期)未処分利益	843		766	
利益剰余金合計	1,865	36.8	1,789	34.4
資本合計	3,966	78.2	3,890	74.9
負債及び資本合計	5,074	100.0	5,190	100.0

2. (要約) 損益計算書

(単位：百万円)

区分	当第1四半期 (平成18年12月期第1四半期)		(参考) (平成17年12月期)	
	金額	百分比 (%)	金額(百万円)	百分比 (%)
I 売上高	1,724	100.0	5,498	100.0
II 売上原価	969	56.2	3,006	54.7
売上総利益	755	43.8	2,491	45.3
III 販売費及び一般管理費	381	22.1	1,620	29.5
営業利益	373	21.7	871	15.8
IV 営業外収益	2	0.1	206	3.9
V 営業外費用	21	1.3	107	2.0
経常利益	353	20.5	970	17.7
VI 特別利益	2	0.1	1	0.0
VII 特別損失	—	0.0	0	0.0
税引前四半期(当期)純利益	355	20.6	972	17.7
法人税、住民税及び事業税	145	8.4	417	7.6
法人税等調整額	—	0.0	△20	△0.4
四半期(当期)純利益	210	12.2	575	10.5
前期繰越利益	633		191	
四半期(当期)未処分利益	843		766	

【追加情報】

1. 固定資産の減損に係る会計基準を適用しておりますが該当資産がないため影響はありません。
2. 役員賞与に関する会計基準により従来の方法に比べ販売費及び一般管理費が3百万円増加し、営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益が同額減少しております。

3. (要約) キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

区分	当第1四半期 (平成18年12月期第1四半期)	(参考) (平成17年12月期)
	金額	金額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期(当期)純利益	355	972
減価償却費	4	16
デリバティブ評価損益(△は益)	9	△196
貸倒引当金増減額(△は減少)	0	△5
役員退職慰労引当金増減額(△は減少)	△30	17
退職給付引当金増減額(△は減少)	△9	23
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	3	—
受取利息及び受取配当金	0	△1
売上債権の増減額(△は増加)	△284	△141
たな卸資産増減額(△は増加)	△25	△85
仕入債務の増減額(△は減少)	80	44
未払金の増減額(△は減少)	△71	△46
役員賞与金の支払額	△21	△16
その他	19	14
小計	29	598
利息及び配当金の受取額	2	3
法人税等の支払額	△261	△399
営業活動によるキャッシュ・フロー	△229	201
II 投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金等の預入による支出	—	△100
定期預金等の払戻による収入	—	10
有価証券の取得による支出	—	△301
有価証券の売却・償還による収入	100	100
投資有価証券の取得による支出	△32	△1,306
関係会社株式の取得による支出	—	—
有形固定資産の取得による支出	△2	△7
無形固定資産の取得による支出	—	△11
投資活動によるキャッシュ・フロー	64	△1,617
III 財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額(△は減少)	0	△20
長期借入金の返済による支出	△99	—
株式の発行による収入	—	1,475
配当金支払額	△87	△28
財務活動によるキャッシュ・フロー	△186	1,426
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	2	3
V 現金及び現金同等物の増加額	△348	14
VI 現金及び現金同等物の期首残高	698	684
VII 現金及び現金同等物の四半期(期末)残高	349	698